

BASFジャパンの石田博基社長は、このほど幕張メッセ（千葉市美浜区）で開催された展示会「農業Week」で全国農業協同組合連合会（JA全農）の富田健司常務理事と講演した。冒頭、あいさつに立った石田社長は「われわれが直面している社会課題は大きく変わっている。2050年までに世界の人口、エネルギー消費、必要となる食料が増加する。当社はこうした課題に挑戦し、持続可能な社会を提供するために貢献していく」とし、農業においても「持続可能な日本の農

## 消費者に食の安全届ける

### BASF ジャパン 石田社長

#### 幕張メッセの展示会で講演

業の実現を通じて消費者に食の安全を届ける」と語った。両者は日本における農業の課題や解決に向けた最先端の農業ソリューションを紹介した。登壇テーマは「JA全農と世界のBASF社が取り組むスマート農業 衛星画像とAI解析による農業デジタルイノベーション」。



「農業Week」で講演する石田博基社長

こうした課題に向けたソリューションとして、BASFが世界100カ国で展開するデジタルソリューション「xarvio」（ザルビオ）を紹介した。石田社長は「日本の農業を持続可能にするためにはスマート農業が不可欠だ。ザルビオによって日本の農業を元気にしてい

こうした課題に向けたソリューションとして、BASFが世界100カ国で展開するデジタルソリューション「xarvio」（ザルビオ）を紹介した。石田社長は「日本の農業を持続可能にするためにはスマート農業が不可欠だ。ザルビオによって日本の農業を元気にしてい

とから日本の農業総産出額は減少傾向にあり、輸入依存度が高い。さらに米や大豆といった主要作物の収量は欧州や米国、中国と比べて明らかに低く、生産性の向上が急がれる」と説明した。

## 「ザルビオ」で日本の農業元気に

## スマート化に欠かせぬ

スマート化に欠かせぬ。ザルビオは、衛星画像とAI解析による農業デジタルイノベーション。中国と比べて明らかに低く、生産性の向上が急がれる」と説明した。石田社長は「日本の農業を持続可能にするためにはスマート農業が不可欠だ。ザルビオによって日本の農業を元気にしてい

縮めた。